

《担当者名》 高橋尚明 nao-takahashi@hoku-iryu-u.ac.jp 泉唯史 武田涼子 佐々木祐二 澤田篤史 長谷川純子 大須田祐亮 鈴木伸弥 佐藤一成 中村宅雄 山根裕司 岩部達也 多田菊代 河治勇人 只石朋仁

【概要】

本授業科目は理学療法学の集大成科目として、3年半にわたって学んできた理学療法学に関する基礎および専門分野の学習成果を振り返り、理解が不十分であった項目を補いながら、理学療法士として必要な知識の整理統合を図る。

【学修目標】

これまで学んできた理学療法学に関する基礎および専門分野を総合的に復習し、それらの知識を統合して理学療法の実践に活用できるようになる。

1. 各疾患の病態像を説明できる。
2. 各種理学療法検査および治療の意義や目的、正確な実施方法を説明できる。
3. 各疾患に対して必要な理学療法評価ならびに治療介入の基本的な考え方を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 7	基礎系理学療法	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、補装具療法、ADL、理学療法概論	中村宅雄 長谷川純子 武田涼子 多田菊代 泉唯史 只石朋仁
8) 15	疾患別理学療法	内科疾患、小児科学、整形外科、脳血管障害、神経・筋障害、脊髄損傷	澤田篤史 大須田祐亮 鈴木伸弥 山根裕司 佐藤一成 岩部達也 佐々木祐二 高橋尚明 河治勇人

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

中間および定期試験 100%

【教科書】

クエスチョン・バンク 「理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2022 共通問題 第14版」 メディックメディア

クエスチョン・バンク 「理学療法士 国家試験問題解説2022 専門問題 第13版」 メディックメディア

【学修の準備】

授業内容に該当する部分を下級学年で使用した教科書等を用いて予習（20分）、復習（20分）すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

高橋尚明（理学療法士） 武田涼子（理学療法士） 佐々木祐二（理学療法士） 澤田篤史（理学療法士） 長谷川純子（理学療法士） 大須田祐亮（理学療法士） 鈴木伸弥（理学療法士） 佐藤一成（理学療法士） 中村宅雄（理学療法士） 山根裕司（理学療法士） 岩部達也（理学療法士） 多田菊代（理学療法士） 泉唯史（理学療法士） 河治勇人（理学療法士） 只石朋仁（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関および研究機関での実務経験を活かし、理学療法領域全般の総合的知識を講義する。